

研究課題名	内視鏡的逆行性胆嚢ドレナージ後の待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術における検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 消化器外科
研究責任者(職名)	円城寺 貴浩 (消化器外科医長)
研究期間	承認日 ~ 2025年 3月 31日
研究目的と意義	胆嚢炎の患者さんに対する内視鏡的逆行性胆嚢ドレナージ (Endoscopic retrograde gallbladder drainage ; ERGBD) とその他の治療法の関連について検討します。ERGBD チューブ 抜去が周術期の経過に与える影響を調査することで、適切な周術期管理および ERGBD チューブ の取り扱いが明らかになると期待できます。
研究内容	●対象となる患者さん
	胆嚢炎の患者さんで、当院にて 2022年 1月 1日~2024年 8月 31日 の間に胆嚢炎と診断され待 機的腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者さん
	●利用する情報
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者背景：病名、病歴、年齢、性別、身長、体重、喫煙歴</li> <li>・ 自覚所見：腹部所見の有無</li> <li>・ 血液検査：AST、ALT、血小板、白血球数、アルブミン、Cr、LDL、HDL、TG、CRP、<math>\gamma</math>GTP、BUN、Cre、Hb</li> <li>・ 画像検査：CT、Magnetic Resonance cholangiopancreatography (以下 MRCP)</li> <li>・ 術前治療：ドレナージ、抗菌薬、無治療</li> <li>・ 術中所見：手術時間、出血量、ドレーンの有無</li> <li>・ 併用薬：原疾患に係る治療薬の有無と薬剤名、用法・用量、服薬期間</li> <li>・ 合併症の有無 (例：発熱、総部位感染、腹腔内膿瘍)</li> </ul>
	●研究方法
	<p>上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 術後在院日数への影響、検査データ異常の有無、術後合併症の有無</li> </ul>
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町 6番 39号</p> <p>電話：095 (822) 3251 (内線 3553)</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>